

国民経済計算の推計レビューの検討状況報告

－今後の推計方法における課題－

我が国の国民経済計算の更なる改善を目指し、より透明性を高めていく観点から、本年4月28日より実施している「推計レビュー」の検討状況は以下の通り。

1. 利用者からの意見

(1) 四半期別GDP速報（QE）データのホームページ掲載の早期化について

(概要) 2005年1-3月期1次QEの際は更新が公表時刻から1時間半以上経過していた。8時50分の公表時には主要な数字しか更新されないが、今後は詳細なデータ（長期時系列データ）についても公表と同時に更新してほしい。

(対応等) ⇒2005年1-3月期2次QEより、長期時系列データについても公表直後にホームページに掲載。

(2) GDP測定と消費税の取扱いについて

(概要) 我が国においてSNAの測定にあたり採用している生産者価格及び購入者価格の概念は、消費税を含んでいる。最近のGDPは消費税により約11兆円上げ底となっており、今後消費税率が変動するたびに名目GDPが変動することになる。また、消費税を含んでいないOECD等の諸外国との正確な国際比較を阻害する問題がある。我が国における一般消費税の取り扱いについて、整理・検討をお願いしたい。

(対応等) ⇒市場価格表示であるGDPは、93SNAの勧告において、控除可能でない付加価値型税（VAT）を含むとされる。我が国において、GDPに控除可能でないVATを含めているのは、国際基準におけるGDPの定義に沿ったものである。

生産者価格表示の総付加価値については、93SNAの勧告において、購入者にインボイスされたVATを控除することとされているが、我が国では93SNAの導入の際に検討した結果、「産業関連表」に基づく生産者価格（インボイスされたVATを含む）から商品別にインボイスされたVATを控除することは困難であるため、93SNA勧告に従った生産者価格の導入は見送っている。

なお、ユーザーが誤解なく利用できるよう、付加価値額を表示する際の評価価格や消費税の取扱いについては、平成17年版国民経済計算年報より、巻末における「国民経済計算の見方・使い方」及び「用語解説」を充実させ、我が国のSNAにおいては生産者価格に消費税が含まれている旨の解説を追加。

(3) 国民所得の雇用者報酬の賃金・俸給について

(概要) 現行の推計方法では過少推計ではないのか。現行では「毎勤」で求めた1人当たり収入に「国勢調査」等で求めた雇用者数をかけているが、同時に2ヶ所から給与を得ている人については適切に反映されないのではないか。人数に「延べ人数」の考え方を採り入れる、あるいは税務統計の参照などが考えられる。

(対応等) ⇒「国勢調査」では、1人の仕事を主なもの1つに限っているが、「国民経済計算」では、2つ以上の仕事に従事し、かつ事業所も異なる場合はそれぞれ1人と数える。「就業者構造基本調査」(総務省)を用いて副業者分を加算している。

2. 国際機関から指摘された推計上の主な課題

本年9月に国際機関から寄せられた主な指摘事項は以下の通り。

(1) 経済活動別 GDP の四半期データの公表

⇒QEにおける供給側推計をさらに拡充し、最終的には生産側QEを公表すること。

(2) 生産者価格表示の総付加価値における消費税の取り扱いについて

⇒93SNAの勧告の通り、消費税を含めないネットアプローチによる評価へ

(3) GDP と GDE (国内総支出) の不突合

⇒サプライ・ユース表の活用が望ましい。(別紙1)

(4) GDP の改定幅の検証について

⇒支出系列の四半期公表値の改定履歴の検証に着手し、成果物を公表。

(5) GFS(Government Finance Statistics)の整備と SNA における活用

3. その他の主な検討課題

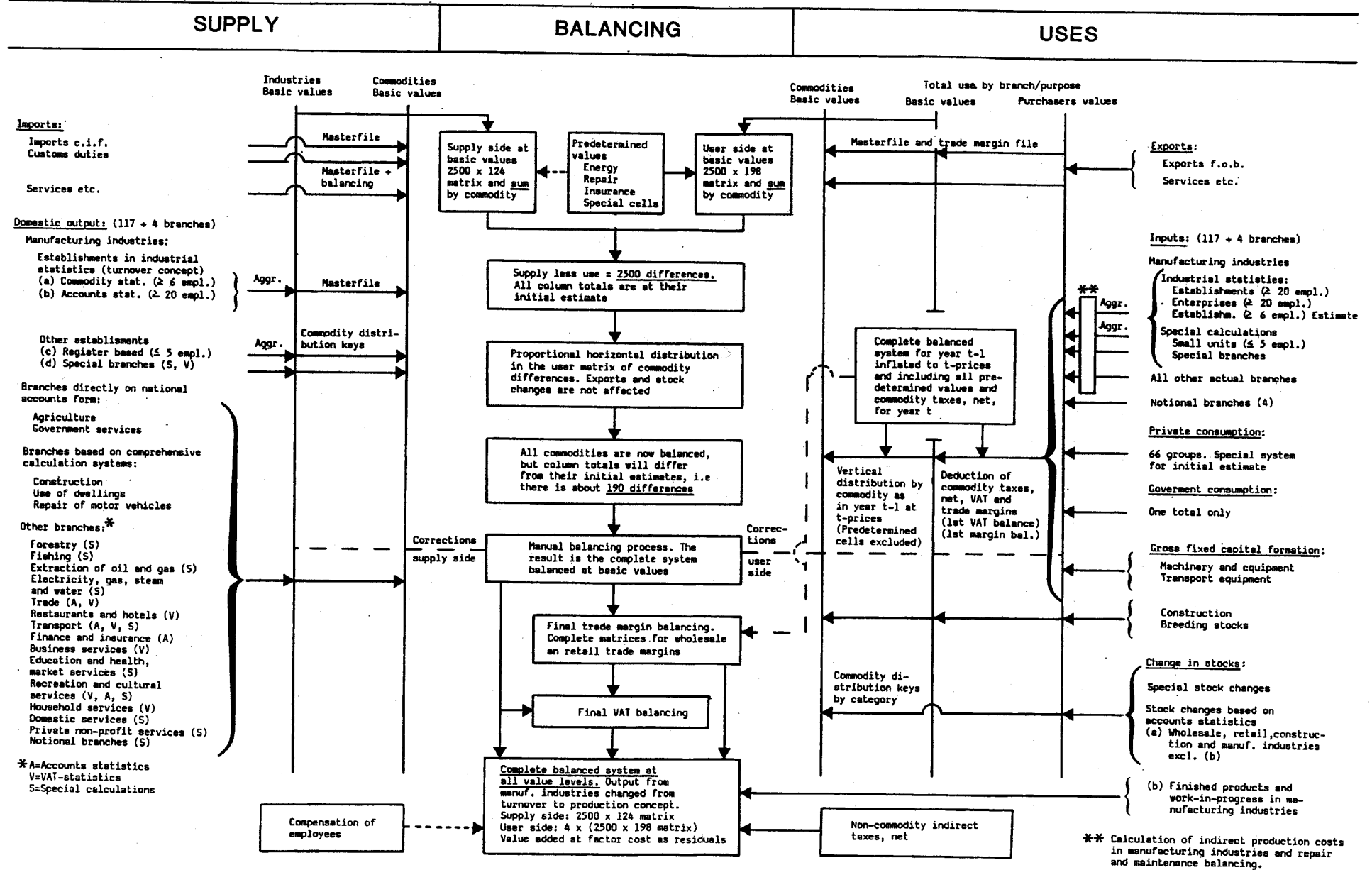
(1) 1次QEから2次QEへの改定幅の縮小に向けた推計方法の見直し

- ・「法人企業統計調査」のQEにおける卸・小売のマージン率
- ・1次QEにおける原材料在庫・仕掛品在庫の扱い

(2) 生産性に関する統計の表章に向けた検討

- ・労働生産性の推計手法の検討
- ・公的部門の産出の直接計測手法の検討

Diagram 1. Stylized flow-chart for the functional part of the final Danish national accounts



(出典) デンマーク統計局

Commodity flow systems and construction of input-output tables in Denmark